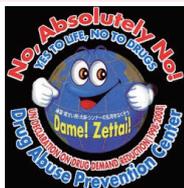


薬物乱用防止について

薬物乱用について

薬物乱用を防止するためには、皆さん一人ひとりが薬物に対する正しい知識を持つことが大切です。ここでは、最近増えている乱用薬物や、山口県での薬物乱用の現状、代表的な乱用薬物であるシンナーと覚せい剤について解説しています。



**あなたの近くに忍び寄る！
こんな薬物にも気をつけて！**



大麻の葉



大麻樹脂

マリファナ(大麻)

気分をぼーっとさせる働きを持つ成分が入っています。使っていると、幻覚や妄想が現れ、集中力が無くなり、ひいては「大麻精神病」を引き起こすことがあります。

特に若い人の間で使用されており、チョコ、葉っぱ、ガンジャ等の名前で取引されています。

大麻は日本では医療で使用されることはありません。

体に害が無いという誤った情報を流す人がいますが、決してだまされないで！そんなことはないし、持っているだけでも犯罪なのです。

エクスタシー (MDMA)



普通の薬のような形で、飲むと幻覚症状があらわれたり、心臓に大きな負担がかかって死亡した人もいます。

若い人の間でよく使用されており、気軽に手を出してしまう人がいますが、大変危険です。

一度で止めるつもりでも、止められなくなってしまうですよ。

※幻覚：実際にはないものが見えたりすること。

これらは全て

**違法
です!**

**違法ドラッグ
(いわゆる脱法ドラッグ)って!?**

最近、麻薬や覚せい剤などの成分に似た薬物で、幻覚など精神に強い作用を及ぼす恐れのあるものが、表向きは芳香剤やビデオクリナーなどと言って、様々なかたちで売られているものがあります。これらを飲んだり吸引したりすると、身体に悪い影響が出て、大変危険です。

また、このような薬物の中には、麻薬等の違法な成分が含まれている場合もあり、所持や使用が違法になることがあります。

自分の健康をしっかり守るためにも、犯罪に巻き込まれないためにも、こうした薬物には

決して手を出さないでください!

薬物の乱用は健康に悪い影響を及ぼします。そして、薬物依存になると、不安、被害妄想などの症状が現れます。幻覚や妄想によって殺人、放火などの重大犯罪を引き起こすこともあります。

また、薬物を手に入れるために、借金をしたり、窃盗、詐欺、売春などの犯罪を平気で犯すようになります。

1 薬物乱用の背景

薬物乱用者の多くは、ほんのちょっとした好奇心から安易に使い始めています。この背景として、次のようなことが考えられます。

①薬物による弊害の恐ろしさを十分に知らないこと。

特に「合法ハーブ」等と称する薬物は「合法」であるから「安全」であるという誤解を招きやすく、実際は覚醒剤や大麻と同様の健康被害のおそれがあることを知らないこと。

②薬物は精神依存性が強いいため、ひとたび乱用を始めると自分の意志ではなかなかやめられなくなってしまうこと。

③薬物の取引による利益を資金源としている暴力団や外国人密売組織などが言葉巧みに勧め、大量に供給していること。

2 薬物乱用とは

薬物乱用とは、社会的常識、特に医学的常識を逸脱して、「合法ハーブ」等と称する薬物をはじめ麻薬や覚醒剤などの薬物を使うことです。たとえ1回使用しただけでも乱用にあたります。

●乱用される危険のある主な薬物

覚醒剤、大麻(マリファナ)、あへん系麻薬(ヘロインなど)、コカイン、MDMA、違法ドラッグ、有機溶剤(シンナーなど)

3 「合法ハーブ」と称する薬物(違法ドラッグ)にダマされるな

※覚醒剤・大麻に化学構造を似せて作られた物質などが添加されたもので、どんな影響が身体にでるかかわからず、乱用による健康被害が発生しており、大変危険です。

※麻薬等の乱用につながるゲートウェイドラッグ(入門薬)となるおそれがあります。

■例えば「合法ハーブ」と呼ばれるものは? …… 乾燥植物に、大麻様の作用を持つ薬物(合成カンナビノイド)を混ぜ込んだもの

■どんな形に見せかけているの? …… 「お香」「ハーブ」などとして販売・「アロマオイル」などとして販売

形を変えたように見せかけているだけです。「ダマされないように!!」

4 普及啓発活動

県では、青少年に重点を置いた啓発活動を積極的に実施するため、警察署及び薬物乱用防止指導員と連携し、大学、高校、中学校、小学校で薬物乱用防止教室を開催しています。

問い合わせ先

山口県周南健康福祉センター 環境衛生薬事班 ☎0834-33-6427